

問題

- (1) 服部選手は悔しい気持ちをさまざまな言葉で表現しています。二つ選んで書きましょう。
- ①
②
- (2) 服部選手はどのような気持ちでオリンピックに挑もうとしていますか？
- (3) みなさんは東京五輪ではどの種目を応援したいですか？

(小学校3、4年生以上／朝の会)

MGCで仙台育英高出身の服部勇馬選手が男子2位に入り、東京五輪のマラソン代表に決まりました。いよいよあと1年。これからもさまざまな種目が話題となってくると思います。日々のニュースに興味・関心を持って、楽しんだり応援したりしたいものですね。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市高砂小学校長 中辻正樹)

マラソン代表決定4人 心境語る



服部 安堵感と悔しさと

15日に行われたマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)で2位までに入り、東京五輪代表に決まった男女4選手が16日、一夜明けて東京都内で取材に応じた。男子2位の服部勇馬(トヨタ自動車、仙台育英高・東洋大出)は「代表に決まり)ほっとしたけれど、悔しい気持ちが上回り始めた。勝ちにくいレースができなかった」と振り返った。

(13面に関連記事)

男子優勝の中村匠吾(富士通)はこの日が27歳の誕生日。関係者からケーキをプレゼントされ、笑顔で「代表として恥じない努力をしていきたい。銅メダルは十分に届く範囲」と話した。女子を制した前田穂南(天満屋)は「少しずつ実感が湧いてきた」、女子2位の鈴木亜由子(日本郵政グループ)は「身が引き締まる思い」と語った。



MGCで五輪代表に決まり、一夜明けて記念撮影に応じる(左から)鈴木、前田、中村、服部

レース直後の安堵感(あなごころ)は、優勝を逃した悔しさに上書きされつつある。「自分から仕掛けて勝ちにいかなかった」「何もできなかった」。服部の柔らかな表情から次々に反省の言葉が漏れた。

39^号地点で、優勝した中村のスパートを

見送った。「体は動いていたが(付いて行く)勇気がなかった」。力を残しておけば2位になれるという計算が働いた。選考ルールを踏まえた好判断が、一夜を経て弱気の表れに映る。

確実に五輪切符をつかむ走りに徹するのは当然の戦略だ。ただ、アスリートの本能がそれを許してくれないのか、すっきりと心が晴れない様子だ。

昨年12月の福岡国際で優勝するまで、マラソンで目立った実績はなかった。日本記録保持者の大迫傑(ナイキ)らと並び4強と注目されても「まだ力はない。胸を借りるつもりで走った」。謙虚に自分を見つめていた。最高ではないが、十分な結果を手にした。

自己ベストは日本記録に1分40秒近く及ばず、アフリカ勢はさらにその先を行く。「自分の最大限の(力を出す)走りをした」。

MGCで見せた冷静さに度胸を併せ、世界に挑む。(東京支社・佐藤夏樹)

かほく
ワークシート

出題者から

9月29日こども新聞ワークシート模範解答

- 1 服部選手は悔しい気持ちを、さまざまな言葉で表現しています。ふたつ選んで書きましょう。

「自分から仕掛けて勝ちにいかなかった」

「何もできなかった」

「体は動いていたが、(付いて行く) 勇気がなかった」など

- 2 服部選手はどのような気持ちでオリンピックに挑もうとしていますか？

「自分の最大限の(力を出す) 走りをしたい」

- 3 みなさんはオリンピックではどの種目を応援したいですか？

※模範解答なし